

2022年2月22日

各位

参天製薬株式会社
コーポレート・コミュニケーション・グループ

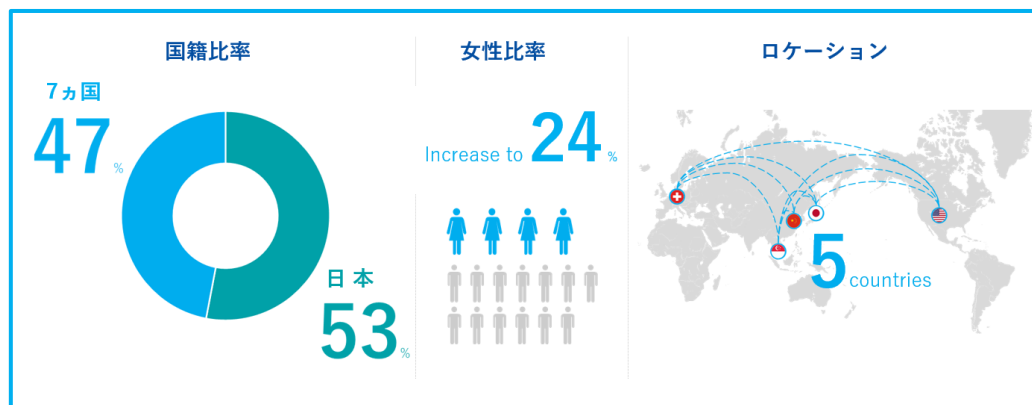
Santen 2030 に向けた執行体制の刷新のお知らせ

参天製薬株式会社（本社：大阪市、以下、Santen）は、グローバル企業としての競争力を高め、戦略実行力を強化し、中長期的な成長を実現することを目的に、2022年4月1日付でエグゼクティブ・マネジメント・チーム（以下 EMT）を組成し、同チームを基軸とした執行体制へと刷新します。日本を起点に海外 60 か国を超える国・地域へと展開してきた眼科医薬品事業の価値最大化と、それを基盤とした新規技術および新領域への拡大を通じた事業モデルへの進化を確実なものとし、中期経営計画（Medium-Term Plan 2025、以下 MTP2025）の確実な実行と長期ビジョンである Santen 2030 を達成する戦略実行を強靱に推進してまいります。

戦略実行力を強化し、競争優位性を確保するためには、世界中の眼科におけるアンメットニーズを深く理解し、グローバル視点で製品開発・製品供給を進められるような卓越したオペレーションを実現する組織構築が重要です。また、眼科における Social Innovator として持続的な成長を実現し、地球規模の社会課題を解決していくためには、世界各地における強力な事業推進体制、戦略推進力とともに、グローバルオペレーションを戦略立案の面からリードし、執行のガバナンスを強化する Centers of Excellence (CoE) が重要です。今回の執行体制刷新により、地域・領域ともに広がる各事業のヘッドと戦略・オペレーションをグローバル視点でリードする CoE が機動的に連携し、スピーディかつ全社視点で最適な意思決定を行うグローバルなマネジメント体制を構築し、業務執行のガバナンス体制を強化します。

EMT はグローバルファンクションごとに責任を持つ Global C-suite（C スイート）と、眼科における多様なマーケットやビジネス領域を統括するビジネスヘッドで構成し、CEO と各 EMT メンバーが一体となって戦略討議、迅速な意思決定を行い、経営の執行を CEO とともに行います。グローバル企業におけるリーダーシップ経験や、各地域における多岐にわたるビジネス経験、ライフサイエンスセクター内外の各ファンクションにおける高い専門性を有するグローバルリーダーが、次の 10 年に向けた Santen の飛躍的な成長の可能性を引き出す原動力として重要な役割を果たします。尚、EMT メンバーは、代表取締役社長兼 CEO の谷内樹生の直属となります。

■エグゼクティブ・マネジメント・チームの多様性（2022年4月時点）



グローバルオペレーションにおいて、以下の EMT が CoE として戦略立案と実行をリードします。

- ・ 現職のレザ・ハックは、眼科イノベーションセンター長として、引き続き、世界中の様々な眼科研究の動向やスタートアップ企業の情報をいち早くキャッチし、これまで **Santen** が培った強みと外部機関の強みを掛け合わせるオープンイノベーションに取り組むなど、社内外技術の眼科応用への道筋を構築していきます。
- ・ 現在、執行役員 製品開発本部長のピーター・サルスティグは、チーフ メディカル オフィサーとして、グローバルな製品開発をリードするとともに、ファーマコビジランスなど医薬品の安全性についての責任も担います。
- ・ 現職の木村 章男は、チーフ プロダクトサプライ オフィサーとして、製品供給長期戦略フレームワークに基づき、製品の多様化を見据え、製品の供給のためのグローバルネットワークの構築と安定供給・原価低減、グローバルサプライチェーンの効率化に取り組みます。
- ・ 現職の原 実は、チーフ デジタル & インフォメーション オフィサーとして、次世代 ERP (Enterprise Resources Planning) 導入などデジタルソリューションの提供を通じて、全社事業やバリューチェーンの効率化やセキュリティの向上、また、急速にデジタル化が進むヘルスケア業界において、デジタル戦略策定と推進機能を加速させ、デジタル活用による成長をリードします。
- ・ 現職の加藤 信子は、チーフ コミュニケーション オフィサーとして、多様なステークホルダーとの関わりにおいて、企業の成長に貢献するコミュニケーション戦略の立案とアドバイザーの役割を担います。グローバルなコーポレート・コミュニケーション機能を確立し、コーポレートブランドのグローバル浸透等、企業文化の変革をリードします。
- ・ 現在、常務執行役員 経営管理担当 兼 チーフ・ファイナンシャル・オフィサー 兼 財務・管理本部長である越路 和朗は、チーフ ファイナンシャル オフィサーとして全社の資本政策および財務戦略の立案、執行を統括するとともに、チーフ リスク オフィサーとして、グローバル規模での内部統制・リスク管理能力の強化を図ります。
- ・ 現職の増成 美佳は、ジェネラル カウンセル 兼 チーフ コンプライアンス オフィサーとして、適切なリスク管理にとどまらず、経営戦略に沿って企業成長をリードするリーガルアドバイザーの役割を担うと同時に、法と規則の遵守や倫理の保持を図り、全社的なコンプライアンス体制の強化を推進します。
- ・ 現在、インターナショナル ファイナンス シニアバイスプレジデントであるクリス・ラインデルは、チーフ ビジネス オフィサーとして、眼科医薬品事業を中心に、薬価、マーケットアクセス、マーケティング、コマーシャル・エクセレンスなどの戦略実行をグローバル視座で推進します。
- ・ 3月1日に入社するニコラス・トリポディスは、チーフ ストラテジー オフィサーとして、経営戦略、ポートフォリオ・マネジメント、新事業開発、知財管理、MTP2025 および **Santen 2030** の推進ドライバーとなる新規事業の立上げなどの戦略機能を強化します。

- ・ 現在、執行役員 人事本部長の屋鋪 智樹は、チーフ HR・サステナビリティ&アドミニストレーションオフィサーとして、CEO オフィス、サステナビリティ、理念推進、人事、総務の各機能を管轄します。人材戦略の推進に加え、全社横断での組織経営の更なる有効性向上、主要な各種会議体運営を中心とした業務執行ガバナンス強化および、サステナビリティ戦略の立案・実行をリードします。

各地域事業および新規領域事業については、以下の EMT が各事業戦略をリードします。

- ・ 現職の伊藤 毅は、取締役 兼 日本事業統括兼 眼科事業部長として、眼科のリーディングカンパニーとして圧倒的なマーケットシェアを誇る日本市場において、引き続き収益水準の維持と規模を生かした戦略展開をリードします。
- ・ 5月1日に入社予定のジョジカ・ハビジャニックは、アジア事業統括として、治療選択肢の提供および眼科エコシステムの発展を通じて、眼科医や治療アクセスポイントの量・質的な充足を図るなど、眼疾患が増加しているアジアにおける成長をリードします。
- ・ 現職のルイス・イグレスiasは、EMEA (Europe, Middle East and Africa) 事業統括 兼 北米事業統括として、日本に次いで2番目に大きい売上を誇るリージョンである EMEA での着実な成長と、新薬イノベーションの源泉である米国市場でのプレゼンスの早期確立を推進します。
- ・ 現職の山田 貴之は、中国事業統括として、成長著しい中国市場において、現地の患者さんのアンメットニーズを満たす治療選択肢の提供および潜在患者の顕在化を通じてさらなる中国市場の拡大をリードします。
- ・ 現職のマリアンティ・プサハは、細胞・遺伝子治療事業統括として、将来の成長分野である細胞・遺伝子治療をリードし、現状で根本療法や治療薬がなくアンメットニーズが高い疾患に対する新たな治療オプションの開発を推進します。
- ・ 現職のロバート・ワグナーは、メディカル機器ソリューション事業統括として、Santen の眼科領域での知見・技術とデジタルヘルス技術での専門性を融合し、ユニークな眼科デバイスや総合的な技術ソリューションの開発・商品化に向けた戦略展開を推進します。


Santen は、中長期的な成長に向けた戦略実行力とグローバルガバナンスを強化し、真のグローバルカンパニーとして企業としての競争力を高め、更なる変革を実行してまいります。Santen が目指す理想の世界、WORLD VISION である Happiness with Vision の実現に向け、世界中の技術や組織・人材をつなぎ、「見る」を通じて人々の幸せを実現する Social Innovator として、眼の疾患や不具合に起因する世界中の人々の社会的・経済的な機会損失を削減することを目指します。

■2022年4月1日付 執行体制

() 内はロケーション	氏名	新役職	旧役職
 (日本)	伊藤 毅	取締役 兼 日本事業統括 兼 眼科事業部長	取締役 専務執行役員 日本事業統括 兼 眼科事 業部長
 (シンガポール)	ジョジカ・ハビジャンツ ク	アジア事業統括	新任 (5月入社予定)
 (スイス)	ルイス・イグレシアス	EMEA 事業統括 兼 北米 事業統括	執行役員 EMEA 事業統括 兼 北米 事業統括
 (中国)	山田 貴之	中国事業統括	執行役員 中国事業統括
 (スイス)	マリアンティ・プサハ	細胞・遺伝子治療事業統 括	細胞・遺伝子治療グロー バルヘッド

 (シンガポール)	ロバート・ワグナー	メディカル機器ソリューション事業統括	グローバルデジタルテック シニアバイスプレジデント
 (アメリカ)	レザ・ハック	眼科イノベーションセンター長	眼科イノベーションセンター 本部長
 (アメリカ)	ピーター・サルスティグ	チーフ メディカル オフィサー	執行役員 製品開発本部長
 (日本)	木村 章男	チーフ プロダクトサブライ オフィサー	常務執行役員 グローバルプロダクトサブライ担当
 (スイス)	原 実	チーフ デジタル&インフォメーション オフィサー	執行役員 チーフ・インフォメーション・オフィサー (CIO) 兼 デジタル&IT 本部長

	加藤 信子	チーフ コミュニケーシ ョン オフィサー	執行役員 チーフ・コミュニケーシ ョン・オフィサー
(日本)			
	越路 和朗	チーフ ファイナンシャル オフィサー 兼 チーフ リスク オフィサー	常務執行役員 経営管理担当 兼 チーフ ・ファイナンシャル・ オフィサー(CFO) 兼 財務・管理本部長
(日本)			
	増成 美佳	ジェネラル カウンセル 兼 チーフ コンプライア ンス オフィサー	執行役員 ジェネラル・カウンセ (GC) 兼 チーフ・コンプ ライアンス・オフィサー (CCO) 兼 法務・コンプラ イアンス本部長
(日本)			
	クリス・ラインデル	チーフ ビジネス オフィ サー	インターナショナルファ イナンス シニアバイス プレジデント
(スイス)			
	ニコラス・トリポディス	チーフ ストラテジー オ フィサー	新任 (3月1日入社予 定)
(スイス)			

	屋鋪 智樹	チーフ HR・サステナビリティ&アドミニストレーション オフィサー	執行役員 人事本部長
(シンガポール)			

以上

Santen (参天製薬株式会社、本社：大阪市) について

Santen は、眼科に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、医療用・一般用の医薬品や、医療機器の研究、開発、販売・マーケティング活動を行っており、世界約 60 を超える国・地域で製品を販売しています。

Santen が目指す理想の世界、「WORLD VISION」(Happiness with Vision) の実現に向け、世界中の技術や組織・人材をつなぎ、「見る」を通じて人々の幸せを実現する **Social Innovator** として、眼の疾患や不具合に起因する世界中の人々の社会的・経済的な機会損失を削減することを目指します。

130 年の歴史の中で培われた科学的知見や企業力を活かし、製薬企業としての枠を越え、患者さん起点で眼科医療ソリューションの開発と提供に取り組み、価値ある製品・サービスの提供を通じ、患者さんや患者さんを愛する人たちを中心に社会への貢献を果たしていきます。

詳細については、当社ホームページ www.santen.co.jp をご参照ください。

— 本件に関するお問い合わせ先 —

参天製薬株式会社 コーポレート・コミュニケーショングループ

Email: communication@santen.com